



かみさと

# 議会だより

平成24年9月

No. 56

■発行/上里町議会 ■編集/議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木982番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429



■節電や省エネルギー対策推進として、町のクールビズ期間の10月31日までの間における議会は、軽装により、対応することといたしました。

なお、6月定例会初日は、議会議員・関係者全員が「こむぎっちポロシャツ」を着用し本会議が開催されました。



上里町 マスコットキャラクター  
**こむぎっち**

## もくじ

6月定例会・8月臨時会の審議状況	2～3
一般質問	4～8
委員会のうごき	9～11
議会日誌・編集後記	12





# 6月定例会

6月4日～11日

見玉郡市広域市町村圏組合議会議員に高橋正行議員を選出  
緊急雇用創出基金事業を含む一般会計補正予算を可決

6月定例会は、6月4日に開会され、議員5名の一般質問や条例の一部改正、補正予算など町長提出議案3件や見玉郡市広域市町村圏組合議会議員選挙、意見書を審議して11日に閉会しました。6月定例会で審議された内容をお知らせします。

### 選挙関係

◎見玉郡市広域市町村圏組合議会議員選挙について  
○広域議員である新井 實議員が辞任したことに伴い新たに組合議員を選挙したものです。  
※選挙結果 指名推選により高橋正行議員が当選

### 条例関係

◎上里町子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について  
○児童福祉法その他の法令により医療費が公費負担される施設に措置入所している者を対象外とする規定等を追加するため改正を行うものです。  
※審議結果 原案可決

### その他

◎見玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協議について  
○見玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協定書に規定する対象施設に本庄市若泉運動公園多目的グラウンドを加えることの変更を行うものです。  
※審議結果 原案可決

### 補正予算関係

◎平成24年度一般会計補正予算  
○歳入歳出それぞれ4207万7千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ74億6407万7千円とするものです。主な補正内容は次のとおりです。

- ・情報ネットワーク事業 84万円
- ・子ども手当・児童手当

支給事業

91万円

・道路台帳デジタル化業務委託事業 3220万円

・住宅管理事業 94万5千円

・教育委員会事務局運営事業 580万1千円

・図書館運営事業 73万5千円

※審議結果 原案可決

### 意見書関係

◎東京電力が支払った損害賠償金を非課税にすることを求める意見書

東京電力福島第一原子力発電所事故は、放射能汚染による未曾有の大被害をもたらした。1年3カ月が経過した現在も、政府が言う「収束」とは程遠い状況にあり、住民の暮らしと健康、経済活動などを著しく脅かし続けています。

東京電力福島第一原子力発電所事故は、第一義的には原因企業である東京電力が責任を負うことは当然ですが、国策で進められてきた経緯から、政府の責任も重大です。

よって、政府の責任で東京電力が、あらゆる損害について

賠償するよう求めます。

この賠償金について、国税庁は「支払いを受ける賠償金のうち、心身に加えられた損害に対して支払いを受ける慰謝料その他の損害賠償金や、不法行為その他突発的な事故により資産に加えられた損害に対して支払いを受ける損害賠償金は非課税。必要経費を補てんするためのもや営業損害のうち減収分(逸失利益)に対処するものは事業所得等の収入金額とみなし課税とする」との見解を示しています。そのため、営業停止や風評被害などの減収分に対する賠償金は課税対象となっています。

東京電力福島第一原子力発電所事故は突発的な事故であり、営業停止や風評被害など、すべての被害において、目に見えず先の見えない精神的苦痛を伴う「慰謝料」を含めた賠償金であり、賠償金すべてにおいて課税すべきものではありません。よって左記の事項を実現するよう強く要請いたします。

(1) 東京電力が支払った損害賠償金はすべて非課税にすること

※ 審議結果 原案可決

## 8月臨時会 8月17日

■ 児玉郡市広域市町村圏組合議会議員に植井敏夫議員を選出  
■ 防災行政デジタル無線工事契約を締結  
■ 議会議員の政治倫理調査結果報告

### 選挙関係

◎ 児玉郡市広域市町村圏組合議会議員選挙について

○ 広域議員である伊藤 裕議員が辞任したことに伴い新たに組合議員を選挙したものです。

※ 選挙結果 指名推薦により植井敏夫議員が当選

### 契約関係

◎ 工事請負契約の締結について  
○ 防災行政デジタル無線工事を次のとおり契約するものです。

- 1 契約の目的  
平成23年度(繰越) 上里町防災行政デジタル無線施設新設工事
- 2 契約金額  
1億6800万円
- 3 契約の相手  
株式会社国際電気 北関東営業所
- 4 契約の方法  
一般競争入札

※ 審議結果 原案可決

### 上里町長及び副町長並びに上里町議会議員の政治倫理条例に基づく、上里町議会議員の政治倫理調査結果報告について

平成23年10月3日、中島美晴議員ほか2名から、新井 實議員に対する「上里町長及び副町長並びに上里町議会議員の政治倫理条例」第3条第1号(倫理的遵守事項)違反に関する審査請求書が、上里町長あてに提出されましたので、政治倫理審査会から提出された報告書を、次のとおり議会に報告させていただきます。(審査結果)

平成23年10月25日、上里町長及び副町長並びに上里町議会議員の政治倫理条例第8条に基づき、政治倫理審査会が設置され、これまでに8回の審査会を開催し、本件について慎重な審査を重ねてきたところでございます。

12月15日には、本件の審査請求者、連名請求者及び証言者に出席を求め、補足説明を聴取したが、証言者は出席に応じなかった。同日、審査対象者に出席を求め、審査請求に対する見解を聴取したが、審査対象者は請求された事実記憶がないとのことであった。連名請求者の意見聴取の中で関連事項として話が出た広域圏の行政視察研修における審査対象者の発言についても、広域圏事務局に聴取を行ったが、それらに該当する事実は確認できなかった。

審査会としては、審査対象者が審査請求内容に記憶がないと説明したこと、証言者が出席に応じなかったこと、関連する調査においても事実確認ができなかったことなどを踏まえ、条例抵触の事実の存否について、明らかなことは言えないと判断いたしましたところでございます。

しかしながら、条例第3条第1号では、特別職は町民全体の奉仕者として、常に人格と倫理の向上に努め、品位を損なわないような一切の行為を慎み、その職務に関して不正な疑惑をもたれる恐れのある行為をしないこととされておるところでございます。条例の趣旨を踏まえると、町議会議員は、法令の遵守はもとより、政治倫理基準についても当然に遵守しなければならないわけでございます。

本審査会としましては、町議会議員は今後も町民全体の代表として町政に携わる責務を深く自覚したうえで、住民の信頼を損なうことのないよう、倫理の保持に努めることが求められていると考えられる。新井 實議員においても、住民から誤解を受けるような言動は厳に慎み、常に規範意識を持って行動することが必要だと考えておるわけでございます。

# 一般質問



議席番号  
8番 新井 實

## [質問事項]

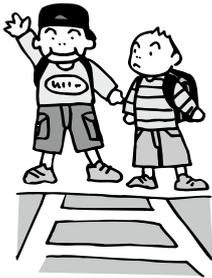
1. 通学路の安全対策と自転車レーンの設置について
2. 公共施設への太陽光発電の導入について
3. 上里サービスエリア周辺地区整備事業について
4. 町の環境政策ビジョンについて
5. 中学校における武道の必修化について(紙面の都合により省略)
6. 学校図書館の充実について(紙面の都合により省略)

### 1 通学路の安全対策について

(問) 町道・県道の通学路の総点検及び危険箇所の洗い出しによる町の安全対策と歩道の設置について。

(答) 町教育委員会では、京都府の事故の翌日、4月24日に町の各小中学校に対して通学路における登下校時のなご一層の安全対策を実施するように通知を出しました。

具体的には、各学校ごとに通学路の点検を行い、危険箇所の把握に努めると共に、必要に応じて通学路の見直しを含めた検討をすることとし、交通事故防止5つの行動を周知し、安全行動の確認と徹底を図ることをお願いしました。



### 2 公共施設への太陽光発電の導入について

(問) 上里町全小中学校

への太陽光発電の導入について。

(答) 上里中学校の建て替えについては、30kWhの太陽光発電装置の設置を計画しております。その他の学校については、予算的な制約もあり、今後文部科学省及び国土交通省の太陽光発電普及促進計画の推移等を考慮しながら検討してまいります。



上里中学校

### 3 上里サービスエリア周辺地区整備事業について

(問) 上里サービスエリア周辺地区整備事業の現時点の進捗状況及び今後

の具体的な事業計画とその推進方法や、企業誘致における誘致業種、成長見極め分散等について。

(答) 現時点での進捗状況は、地権者から4月に所有権移転の関係書類の提出がありましたので、上里町土地開発公社への所有権移転登記に必要な申請書類を作成し、5月17日に埼玉地方法務局本庄出張所へ登記申請書類を提出いたしました。

今後の事業計画については、これから施行される土地造成工事や工事費の算出を勘案しながら、分譲時期、分譲価格を決定すると共に、産業団地分譲要綱を作成いたします。企業誘致については、4月17日上里サービスエリアのスマートインターチェンジ連結許可が下り、企業誘致を行うに際して高速道路へのアクセスの良さを上里町最大のセールスポイントとすることができ、これらを全面に押し出して、埼玉県と連携を図りつつ、立地企業への企業誘致活動を全力で実施してまい

ります。

(問) 上里町サービスエリア周辺地区整備事業推進の中で、エネルギーの地産地消というべき「エコタウンプロジェクト」の取り組みについて。

(答) 企業誘致に際し、進出する企業に対して再生可能エネルギーなどの取組みを行うエコファクトリーについて、企業としての考えや計画について伺うと共に、町から誘致企業が施行することが可能と思われる太陽光発電等についての提案ができるよう、検討してまいります。

### 4 町の環境政策ビジョンについて

(問) 上里町の環境政策における中長期的な環境・エネルギー基本計画について。

(答) 町では、太陽光発電の普及については、昨年度より太陽光発電の設置補助を開始し、一方で節電の一環として、防犯灯のLED化を実施しております。

一般質問



議席番号 2番 山下 博一

[質問事項]

1. 交番を設置することについて
2. 橋の点検・補修について
3. 通学路安全マップの見直しについて
4. 肺炎球菌予防接種について



上里交番

1 交番を設置することについて

(問) 地域防犯活動の拠点としての交番の役割について伺います。

(答) 町も人口増加に伴い、平成20年町民体育館南の町有地に交番設置の要望がありました。署名も1万2千名余り集まり、本庄警察署長を通じて、埼玉県警察本部に提出しましたが、財政状況が厳しく実現に至っていません。高崎線南側の交番は必要不可欠で今後、早期の駅南地区の交番設置について本庄署と連携して協議してまいります。

(問) 機動性の高い交番を設置することについて伺います。

(答) 児童館などを不審者侵入の抑止効果として、パトロールステーションとして警察官見回り拠点や、地域防犯パトロール等の活用などの有効活用を検討いたします。

2 橋の点検・補修について

(問) 道路の橋の点検と補修状況について伺います。

(答) 町が管理する橋は、137橋で30年を経過するものも多くなっています。平成22年主要な橋梁について、職員による目視で劣化状況を確認した結果、緊急で補修を必要とする橋はありませんでした。

(問) 長期的な橋の補修計画について伺います。

(答) 上里町においては、スマートインターチェンジの開設など大型交通車輛の増加が予想され、道路交通の安全確保のため、橋梁を計画的効果的に維持修繕

することが不可欠です。

町は橋の長寿命化修繕計画を策定準備中です。予防保全型の計画修繕を取り入れ、道路の安全を保持し、橋を長持ちさせることでトータルコストの縮減に努めてまいります。

3 通学路安全マップの見直しについて

(問) 通学路安全マップの現状について伺います。

(答) 町内各小中学校では、平成18年当時、連続して発生した登下校時における児童・生徒の行方不明事件等を受けて児童・生徒の安全確保のため安全マップを作成しました。安全教育の一環として各教室に掲示し注意を喚起、新入時の家庭や学校応援団の下校見守り隊に配布して、家庭や地域に周知し、各学校で安全指導に活用しています。

(問) 安全マップの見直しについて、ルート毎の子供の人数、地域毎の安全対策の状況について伺

います。

(答) 見直しは、各校の実態に応じて実施してまいります。通学路の状態は常に変化しており、点検は年2回実施しています。今後も、必要に応じて学校を指導し、安全マップを活用して学校の安全対策に生かします。

4 肺炎球菌予防接種について

(問) 高齢者に対する肺炎球菌予防接種の公的助成について伺います。

(答) 現在、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児肺炎球菌などは平成23年度から町と国で補助し、一部を自己負担で実施しています。高齢者肺炎球菌は、埼玉県内29市町村が公費負担を実施していますが、年齢も75歳以上を対象とする市町村が多く、1回限りの助成としています。今後、県内実施状況も踏まえ国及び近隣市町村の動向を注視して検討してまいります。

## 一般質問



議席番号  
10番 沓澤幸子

## [質問事項]

1. 補聴器購入費の助成について
2. 災害対策について
3. 安心の水道事業について

## 1 補聴器購入費の助成について

(問) 障害者自立支援法では、難聴の程度により補装具費支給制度がありますが、聴覚障害の基準が厳しく、手続きが複雑で、制度が知らされていないため、実費で購入している高齢者がほとんどです。

鳩山町のように独自の補聴器購入費の助成を行い、周知を図ることについて伺います。

(答) 加齢による聴覚障害でも、手帳は取得出来ますので、補装具費支給制度や手続きについて、どうしたら分かり易く周知出来るか検討したいと思います。



## 2 災害対策について

(問) 高齢者や障害者は、地震等災害時に素早い行動が困難です。安全対策として、家具転倒防止器具の助

成や器具の取り付け支援をする事について伺います。

(答) 建物が無事でも家具が転倒すると、被害が大きくなるため、手軽な防災対策として補助の対象者、限度額、取り付け方法などを調査し、実施の方向で検討したいと思っています。

(問) 建築物の耐震改修の補助制度を、県内59自治体の実施しています。東海地震や首都圏直下地震の発生も指摘されています。災害から住民の命と財産を守る対策として、耐震診断・改修が促進する補助制度実現について伺います。



家具転倒防止器具

(答) 今年度耐震改修促進計画を作成するのに合わせて、他の市町村がどういふふうに対応しているかも含め、検討したいと思っています。

## 3 安心の水道事業について

(問) 町の10ヶ年計画に基づいた老朽管の布設替え状況と、今後も予想される地震に備え、計画を早めた布設替えについて、財政面も合わせて伺います。

(答) 平成20年から昨年度までの4年間で全体の50%を更新しました。残り6.67kmは、今後更新予定の路線で道路改良や下水道整備等の他事業との実施時期と整合して、計画に基づき早期布設替えを考えています。

(問) 町の1日最大給水量は19800m<sup>3</sup>ですが有収率は80.39%で、約2割の水が無駄に消えている一方で、1日20000m<sup>3</sup>の県水を受水しています。

近い将来、大地震が起きる可能性も指摘されており、

早期に計画的な耐震化を含む老朽管の布設替えが必要です。町の水は足りていますので、当面、県水の受水量を減量出来るよう働きかけることについて伺います。

(答) 石綿管の布設替えは、首都直下型地震等も予想されており、国も県も非常に敏感になっていきますので、補助金等も模索しながらやっていきたいと思いますが、今後、そういうことが(減量)出来るかどうか、お話をさせて頂きたいと思っています。

(問) 2010年度の水道料金の未収金は5733万円でした。どうした理由で未収金になっているかの把握に努め、引き続き文化的に健康に生活することに欠かせない水の供給停止は行わないよう求めます。

(答) 再三の催促にもかかわらず納付されない場合、公平性の観点から給水停止等の対策を行うことも必要と考えています。未収金の内容、状況については今後調査したいと思っています。

一般質問



議席番号 6番 中島美晴

[質問事項]

1. 省エネ・節電対策について
2. こころの健康づくりについて
3. 自主防災対策について(防災士の育成支援について)
4. 再生可能エネルギー(自然エネルギー)の活用について(紙面の都合により省略)

1 省エネ・節電対策について

(問) 公共料金口座振替・防犯灯電気料一括前払いサービスを導入し、電気料金の負担軽減を図るべきと考えます。

東京電力が大口契約の法人に対し、料金値上げを発表した事態を踏まえ、節税にもつながる、このサービスの利用について、町長の考えをお聞かせ下さい。

(答) 町が支払う電気料金や電話料金などの公共料金については、各担当課ごとに請求に基づき指定された口座への振込みにより処理をしておりますが、事務の簡素化を図るため、口座振替への変更を進めているところです。町の防犯灯は、現在2838本設置されていますので、1年前払いで約35万7588円の割引となります。この割引を受けるための条件となる口座振替につきましても、本年10月開始をめぐり、現在、導入に向けて準備

を進めているところです。導入後は、防犯灯・電気料一括前払いサービスの申請ができます。

(問) 庁舎を含め、公共施設における節電対策について、お聞きします。また、住民への節電の呼びかけや周知についてもお伺いします。

(答) 庁舎や町の各施設の省エネ・節電対策としては、震災以降、現在に至るまでの照明の間引き使用や空調機の設定温度の徹底、エレベーターの使用中止と継続してきました。また、今年も5月8日よりクールビズを実施しています。住民の方へ節電意識向上の周知を広報紙やホームページを活用して図つてまいりたいと考えています。

(問) わが町の今年の「クールアースデー」について、お聞きします。

(答) 7月6日の業務終了後、午後5時30分から庁舎のライトダウンを実施します。

2 こころの健康づくりについて

(問) うつ病や自殺予防の早期発見には、一人ひとりが身近な人に声かけ、気づき、傾聴から支援、つなぎを行うことが必要と考えます。そこで、心の病への理解を広げるため、こころの健康セミナー開催を提案しますが、町長の見解をお聞かせ下さい。

(答) 自殺予防対策には、ゲートキーパーの役割も重要です。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人のことでございます。民生児童委員などに声をかけ、ゲートキーパーの役割を担う人材の育成講座なども実施していきたいと考えています。



3 防災士の育成支援について

(問) 大災害が発生した際、地域住民の避難誘導や避難所運営などの先頭に立つ防災リーダーの存在が重要になります。そのため、防災・減災について、十分な知識・技能を身につけ、日頃から防災への備えを担う防災士の育成支援について、お伺いします。

(答) まずは、防災担当課職員の資格取得に向けて検討をしてまいりたいと考えます。



# 一般質問



議席番号 5番 納谷克俊

## 【質問事項】

1. (仮称)上里スマートインターチェンジ整備事業について
2. 上里中学校の耐震化について
3. 上里東小学校の整備について

### 1 (仮称)上里スマートインターチェンジ整備事業について

(問) 今後のタイムスケジュールについて伺います。

(答) 実施計画書の中で供用開始予定は平成27年12月となっております。事業工程表案が現時点のタイムスケジュールです。

出来るだけ速やかにNEXCO東日本と協定書の締結を進め、早期に事業着手を行いたいと考えています。

(問) 設計並びに工事について、町の事業主体部分については町が設計・工事を実施するのでしょうか。

(答) インターチェンジ部分は高速道路区域になり道路規格、施工基準などは一般道路とは異なり専門性を有し、工事施工もETCゲートで分割施工が可能なのか検討すべき課題も多く、一体的な整備が望ましいのではないかと考えています。

### 2 上里中学校の耐震化について

(問) 建設工事のタイムスケジュールについて伺います。

(答) 今年度10月ごろに発注したいと考えています。

(問) 工事の発注については、分離発注・分割発注とする考えはあるのでしょうか。

(答) 発注方法については、競争性のある入札方法を考えています。一括発注と分離発注を比較検討し、町にとって有利な方法で実施していきたいと考えています。

(問) 仕様書において直接の銘柄指定や原材料等の間接銘柄指定も行わないという方針で発注方法を考えてください。

(答) 今後、検討したいと思っています。



### 3 上里東小学校の整備について

(問) 平成5年にプレハブ校舎が建設され図書室、図工室、音楽室として利用されています。

児童数の今後の推移にもよりますが、恒久的な特別教室棟の建設を望みますが、プレハブ校舎解消に向けての考えはあるのでしょうか。

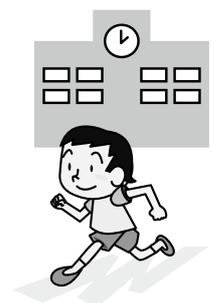
(答) プレハブ造りで長期使用していることが良いとは思っていませんが、現在耐震化事業に取り組んでおり、今後各小学校の老朽化対策としての大規模改修等を考えると、今すぐ改築するのは難しいと認識しています。

(問) プレハブ校舎はフエンスもなく、一般の人がなんなく入ってこられる状況です。

上里中の建築整備の基本理念の中で「全国各地で学校の安全を脅かす事件に鑑み、学校建築にセキュリティ機能の充実が望まれる」とうたわれ



上里東小学校



ていることを考えてもプレハブ校舎の解消が必要と考えますが町長に伺います。

(答) 池田小学校の事件などを考えると出来るだけ早くやらなければなりません。上里中学校の建設などを抱えているので今すぐやるとは言えませんが頭の中において考えていきます。

# 委員会のうごき

5月の臨時議会において、任期満了（2年）に伴う委員会の改選が行われました。

上里町議会には、総務経済常任委員会と文教厚生常任委員会の2つの常任委員会と議会運営委員会が置かれています。又、特別委員会は、議会が必要とするときに本会議の議決によって設置され、特定の重要な事項（案件）について審査しますが、現在、町議会には、設置されておりません。総務経済常任委員会は、行財政・産業振興・都市計画・建設関係などの部門を担当し、文教厚生常任委員会は、教育・福祉・保険・水道関係などの部門を担当しています。総務経済常任委員は、6名で文教厚生常任委員は、7名で構成されています。

常任委員会では、請願・陳情の審査、決算審査や所管の事務調査などを行います。9月定例会では、前年度の決算を担当部門ごとに詳細にし、その審査概要（審査の経過や決算を認定すべきかどうか）を本会議で委員長報告という形式で発表します。

議会だより編集委員会は、常任委員会と議会運営委員会の正副委員長6名が編集委員となり、議会だよりの編集にあたっています。

## 文教厚生常任委員会

### ○所管事項

町民環境課、福祉こども課、健康保険課、人権共生課、水道課、教育委員会等の所管に関する事項



後列左より高橋正委員、伊藤副委員長、根岸委員、納谷委員  
前列左より沓澤委員、植原委員長、中島委員

## 総務経済常任委員会

### ○所管事項

総務課、総合政策課、税務課、まち整備課、産業振興課、下水道課、会計課等の所管に関する事項



後列左より小暮委員、荒井委員、高橋仁委員  
前列左より植井委員、山下委員長、新井副委員長

## 議会だより編集委員会

### ○所管事項

議会だよりの発行に関する事項



後列左より納谷委員、植原委員、山下委員  
前列左より新井委員、荒井委員長、伊藤副委員長

## 議会運営委員会

### ○所管事項

議会運営及び議長の諮問等に関する事項



後列左より根岸委員、小暮委員、高橋仁委員  
前列左より荒井副委員長、納谷委員長、中島委員

## 文教厚生常任委員会学校訪問

文教厚生常任委員会では、7月12日(木)と13日(金)の2日間、町内小学校5校と中学校2校の学校訪問を実施しました。7月12日(木)の午前には上里中学校、上里北中学校の2校を、7月13日(金)の午前には上里東小学校、神保原小学校、賀美小学校の3校、午後は長幡小学校、七本木小学校の2校を順次、訪問しました。

校長先生から学校要覧に基づいて、学校教育目標、学校経営方針、めざす学校像、めざす児童生徒像、めざす教師像、目標達成の為の努力点等、学校経営の説明をして頂きました。その後の質疑応答の中では、不登校について、小学校には「いない」とした学校は「何人かいる」が、最近では



少なくなっているとの説明がありました。

いじめについて判断は難しいが中学校では、生徒にアンケート調査をしたり、生徒指導委員会を開催したり、生活相談員の助言等を受け対応しています。その他には、家庭と地域との連携、部活動、武道の必修化、加配教員等についての質疑応答がありました。学校応援団の活躍について学校側は大変感謝しておりま

した。その後、児童生徒の授業の様子や特別教室棟(コンピュータ室等)、学校本体、体育館、プール等を見学しました。

学校側から主なものとして校舎と体育館の雨漏り、校舎外壁の傷み、プレハブ校舎の改善等の要望がありました。急を要する改修につきましては、当委員会として町当局に強く要請していきたいと思います。

又、学校運営や施設整備の改善等について、今後も関係機関と継続して意見交換をしていく必要があると考えております。



## 議会運営委員会視察研修

7月5日(木)、6日(金)の2日間、議会運営委員会の視察研修が行われました。視察日程、視察先及び視察内容については以下の通りです。

1日目は新潟県南魚沼郡湯沢町議会において「議会の申し合わせ事項」について、2日目午前は新潟県中魚沼郡津南町議会において「議会のインターネット中継について」、午後は十日町市内にある観光交流施設「クロスステーン」においてそれぞれ視察研修を行いました。

湯沢町議会では議会の申し合わせ事項がしっかりと明文化されており、ほぼ毎年のように改定を行い、よき実情にあったものとされています。

策定に至った経緯は改選による新人議員の誕生により、議会に対するイメージ等のギャップの大きさが指



摘され、不明瞭な申し合わせを文書化しようとの動きだったとのこと。

内容については議会と執行部のあり方、議員のあり方、議会運営から請願・陳情の取り扱い、政務調査費について、町民への情報提供や災害時の行動マニュアル等、度重なる議論を重ね、細部についてまで大変良くまとめられたものとなっております。上里町議会において

も学ぶべきところが多いと感じました。

津南町議会では平成24年3月議会より試験的に一般質問のみ、インターネット中継を開始しました。中継を始めるきっかけは、改選前に行われた公開討論会がインターネット中継され、好評だったことからこのことであり、中継開始にはユーストリームを利用し、初期費用を13万円弱、月々の通信料5千円強と低価格で中継を行っています。

今後はカメラの台数を増やすなどの改良を続け、より住民に開かれた議会を目指していくようです。

こちらにも上里町議会において早急に検討・実現させていきたいと強く感じました。

最後の視察地であるクロステンは十日町市を中心とする市町や新潟県、関連団体が出捐する財団法人が管理運営しており、地場産業振興のための事業や道の駅として地域観光の拠点機能を果たしています。

地域の基幹産業の振興や新しい市場の開拓、地域住

民とのコミュニティと文化創造活動の場として各種の事業を実施しており、また近隣住民の重要な避難場所としても利用されているとのことです。

上里町においてもSA周辺地区整備事業におけるヒ

### 総務経済常任委員会視察研修

ントになるのではないかと感じました。以上のように2日間、視察研修を行いました。今後は上里町議会においての実現性などを引き続き調査研究をしていきたいと思

総務経済常任委員会の視察研修が、8月2日、3日の2日間行われました。今回の視察は、近年の台風や集中豪雨などの災害に対する防災意識向上を図るため、先進地視察を行うことが目的でありました。視察日程、視察・研修先及び視察内容については、次の通りです。1日目は、春日部市の首都圏外郭放水路にある庄和排水機場（龍Q館）と、キリンビール取手工場を視察しました。2日目は、つくば市の産業技術総合研究所サイエンス・スクエアつくばの視察と茨城県龍ヶ崎市で



開催された第63回「利根川治水同盟治水大会」に出席しました。首都圏外郭放水路（龍Q館）は、埼玉県内を流れる

中川・綾瀬川流域の洪水対策として建設された、地底50mを流れる世界最大級の地下放水路です。低地が広がる中川・綾瀬川流域の浸水被害を軽減するために建設された地下トンネル形式の放水路で、流域の中小河川の洪水が溢れ出す前に地下トンネルに取り込み、安全に江戸川に放流する施設です。運用開始してから10年が経過して浸水被害を軽減する効果があらわれています。次に、キリンビール取手工場は、ビールの原料の仕込みから、ビールの瓶詰までロボットを要所に配置し従業員がほとんど、見当たらない生産ラインを視察しました。

だけに、連日の猛暑の中、大会参加者の防災への関心が高く感じられました。大会に先立ち、関西大学教授河田恵昭氏の「複合災害時の減災について」の基調講演が行われました。講演では、最悪のシナリオから判断して、一番有効な対策をとる。減災のポイントは、被害がゼロにできる見込みがない場合、被害の最小化を目指す。事前のハード対策、事後のソフト対策で総被害を減らす努力が必要と大変示唆に富んだ内容でした。今後、日頃から減災対策を推進する努力が強く求められていると感じました。

2日目の産業技術研究所は、最先端の研究開発を情報端末などで分かりやすく解説・体験できる施設です。太陽光発電や地熱発電の自然エネルギーの活用が期待できる内容でした。治水大会は、この7月九州北部を襲った記録的な豪雨で各地の河川が氾濫、尊い命が犠牲になったこの災害の直後



# 児玉郡町議会議長会前期研修会

平成24年度児玉郡町議会議長会前期研修会が、7月10日(火)に神川町「冬桜の宿 神泉」において開催されました。開催趣旨は、様々に変化する諸情勢の情報を提供することにより、町議会議員としての見識を深め、郡内における町自治機関の改善振興を図るとしています。参加者は、児玉郡各町議会議員・事務局職員、来賓として、齋藤県議・竹並県議・児玉郡市各首長の皆さんです。

講演は、「放射線の基礎知識」と題し、埼玉県総合調整幹の星野弘志氏にご講演をいただきました。講演内容は、放射線に関する基礎知識に始まり、放射線量が



与える子どもへの影響について、原発事故以前からの放射線の総量、放射線の健康への影響、原発事故後の埼玉県の空間放射線量などの具体的なデータを提示しての講演でした。特に、食品等の

暫定規制値、放射線モニタリングポスト等の現状、除去対策の枠組みなど詳細な内容で、大変示唆に富んだ内容でした。

今回の研修は、参加者の皆さんが見識を深める有意義な研修でありました。

伊藤議員  
児玉郡町議会議長会から表彰

7月10日(火)神川町で開催された児玉郡町議会議長会主催による前期研修会において、前年度議長会の役員として会の発展と地方自治の推進に尽力されました功績により表彰されました。受賞おめでとうございます。



## 議会日誌

### 6月

- 4日 6月定例会初日(開会、町長の行政報告等)
- 4日 一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 議案審議(条例等、24年度補正予算)
- 6日 全員協議会
- 11日 定例会最終日(意見書審議)
- 11日 全員協議会
- 21日 コミュニティ協議会総会
- 24日 男女共同参画週間講演会
- 28日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 29日 社会を明るくする運動推進委員会

### 7月

- 2日 全員協議会
- 5日 議会運営委員会視察研修
- 6日 議会運営委員会視察研修
- 10日 児玉郡町議会議員前期研修会
- 12日 認定農業者連絡協議会総会
- 12日 文教厚生常任委員会学校訪問
- 13日 文教厚生常任委員会学校訪問
- 25日 議会だより編集委員会
- 26日 埼玉県町村議会議長会視察研修
- 27日 埼玉県町村議会議長会視察研修

### 8月

- 1日 明るい町づくり意見発表会
- 2日 総務経済常任委員会視察研修
- 3日 利根川治水同盟治水大会
- 6日 本庄上里学校給食組合議会
- 8日 児玉郡市広域市町村圏組合議会視察研修
- 9日 児玉郡市広域市町村圏組合議会視察研修
- 17日 臨時議会
- 17日 全員協議会
- 17日 議会だより編集委員会
- 20日 群馬県玉村町議会来訪
- 22日 議会運営委員会
- 28日 国道17号建設促進期成同盟会総会

## 9月定例会を傍聴しませんか

### ■手続きは簡単です■

9月定例会は、9月3日(月)に開会の予定です  
尚、一般質問は19日(水)、20日(木)の2日間の予定です

●お問い合わせは、議会事務局へ  
電話 35-1216 (直通)

## 編集後記

今年、4年に一度のオリピックの年でした。

皆さんと同様に、私も日本選手のメダル獲得を期待しながら、オリンピック中継を見ていたもので、寝不足になりました。

今回のオリンピックは、個人種目だけでなく、団体種目の活躍が目覚しく感じられました。特に、女子サッカー(なでしこジャパン)は、結果は残念ながら銀メダルでしたが、私たち国民に勇気と感動を与えてくれました。オリンピックフィーバーで、また、日本の絆が一つにまとまった気がしました。



委員				副委員長	委員長	議会だより編集委員会
植原育雄	山下博一	納谷克俊	新井實	伊藤裕	荒井肇	

